

イデックスオイルレポート ~For a month~

(株)新出光

【月次概況】

- 第1週、5/3のWTI原油は、先週比5.74ドル安の78.11ドルとなりました。米労働省が朝方発表した4月の雇用統計では、景気動向を敏感に反映する非農業部門の就業者数が前月比17万5000人増と、伸びは前月の31万5000人増から減速し、市場予想も下回った。平均時給は前年同月比3.9%上昇(前月4.1%上昇)。労働市場の過熱感緩和を示唆する内容を受け、米連邦準備制度理事会(FRB)が年内の利下げに動くとの観測が台頭した。
- 第2週、5/10のWTI原油は、先週比ドル0.15高の78.26ドルとなりました。ウクライナ軍のドローン(無人機)が新たにロシア領内の石油関連施設を攻撃したほか、中東ではパレスチナ自治区ガザでの戦闘休止に向けた間接交渉がまとまらないまま終了した。イスラエルのネタニヤフ首相は引き続き、イスラム組織ハマス掃討を目指してガザ最南部ラファへの地上作戦を強行する構えを崩しておらず、紛争拡大に伴う供給不安がくすぶった。
- 第3週、5/17のWTI原油は、先週比1.8ドル高の80.06ドルとなりました。17日に発表された4月の中国の鉱工業生産は6.7%増と、前月から2.2ポイント拡大し、予想を上回る加速が示された。また同国政府は、不動産価格が下げ止まらないことを背景に、地方政府が在庫物件を買い取ることを容認するほか、中国人民銀行(中央銀行)が住宅ローン金利の下限撤廃を発表した。世界最大の石油輸入国である中国の石油需要が回復するとの期待が広がり、原油は買いが優勢となった。
- 第4週、5/24のWTI原油は、先週比2.34ドル安の77.72ドルとなりました。2月下旬以来約3カ月ぶりの安値を付けた。米連邦準備制度理事会(FRB)高官らの最近の発言に加え、連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(4月30日、5月1日開催分)で、依然として強いインフレへの警戒姿勢が示されたことが判明し、早期利下げ観測が幾分後退。
- 第5週、5/31のWTI原油は、先週比0.73ドル安の76.99ドルとなりました。OPECプラスは6月2日、オンライン形式で閣僚級会合を開く。現行の自主減産方針が維持される公算が大きいものの、主要産油国の今後の生産方針を巡る協議を前にした警戒感から売りが優勢となった。

5月平均	WTI原油	78.62ドル	前月比	-5.77ドル	為替 1ドル	157.74円	前月差	-0.16円
------	-------	---------	-----	---------	--------	---------	-----	--------

日付	補助金	変動幅	変動幅
5/1~5/1	30.2	-1.0	-1.0
5/2~5/8	30.1	+1.0	+1.0
5/9~5/15	28.3	-3.0	-3.0
5/16~5/22	25.1	-1.5	-1.5
5/23~5/29	25.6	+0.5	+0.5
5/30~5/31	25.7	±0	±0

【単位:円/KL】

メニュー価格推移	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2024年1-3月C重油決定価格	95,490	98,020	【95,490(メニュー)+2,530(プレミアム)】
	2024年4-6月C重油仮価格	103,500	105,910	【103,500(メニュー)+2,410(プレミアム)】
	2024年4-6月C重油決定価格			
決定価格1-3月比				

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移	適合C重油		A重油
	2024年1-3月決定価格	103,420	106,500
	2024年4-6月仮価格	111,310	
	2024年4-6月決定価格		
決定価格1-3月比			

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格 円/kl	通関CIF ドル/bbl	為替レート 円/ドル	原油CIF価格 前月比
	24/4	9桁速報	81,772	85.73	151.55	3,756
	24/5	最終予測	89,878	92.04	155.24	8,106
	24/6	展望	84,037	87.90	152.00	-5,841
	24/7	展望	81,647	87.70	148.00	-2,390

【次世代エネルギー】〈日本郵船がアンモニアに注力する4つの狙い「日本の海事産業の復活を！」〉

海運業界において脱炭素化が進む中、日本郵船がアンモニアを燃料とする船舶に注力する理由には4つの狙いがあります。まず、海運分野の脱炭素化を推進し、アンモニア燃料船の開発・運航によって早期の実現を目指す点が挙げられます。この取り組みは、海運業界において環境への配慮が求められる中で、日本郵船がリーダーシップを発揮することを意味します。さらに、アンモニア供給網の構築に取り組み、アンモニアの利用を火力発電などで増やすことで需要の喚起を図ります。これにより国内外のアンモニア需要の拡大に貢献し、新たなビジネス機会を生み出すことが期待されます。

また、日本の造船業の強化も重要な狙いの一つです。日本の造船業は近年、韓国や中国との競争が激しく、コスト競争に直面しています。しかし、日本の造船技術は高い評価を受けており、国産エンジンを搭載し、国内で建造されるアンモニア燃料船の開発を通じて競争力の維持・強化を図る考えです。さらに、未整備な国際ルールに対応し、アンモニア輸送ビジネスの枠組みを整備することも重要な課題です。

このように、日本郵船がアンモニア燃料船に注力する背景には、環境負荷の低減と産業の振興、技術力の発揮など複数の要素が絡み合っています。これからも、アンモニアビジネスの発展を見据えた取り組みがさらに進んでいくことが期待されます。

出典:マイナビニュース <https://news.mynavi.jp/techplus/article/20240522-2950698/>

【6月価格変動要因】

- 需要:
 - ・中東情勢は引き続き相場を下支えるものの、ドライブシーズン下で燃料需要が不芳で相場の牽引に繋がっていない。ドライブシーズン入りする中で原油在庫は取り崩される一方、ガソリン在庫は積み上がり、不芳な需要が示唆される。
 - ・米欧の製造業が在庫循環サイクルの中で底打ち感が出てきており、新規受注が強めに出てきている。中国PMIも振幅を伴いながら回復しており、経済活動は活発化。一方で、中国は国内需要の減退を背景に、外需を求めて鉄鋼やセラミックなどをダンピングして輸出を増やしている。中国の過剰生産能力を背景とした歪んだ貿易取引は米中の対立として先鋭化されている。
- 供給:
 - ・OPEC会合については、大方の見方は新規材料なく減産継続であるが、OPECが協調減産維持に向けて一枚岩の合意がなされるかが焦点
 - ・米国ではハリケーンのシーズンも近づいているため、気象状況にも注意を払いたい。
- リスク資産・金融市場:
 - ・リスク資産はドル高・金利高が相場の重し。一部ハイテク銘柄に業績の先行き不透明感もあり、指数の下落を誘っている。

＜1ヶ月価格見通し＞ (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	87	83
Average	82	78
Low	77	73

＜3ヶ月価格見通し＞ (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	87	83
Average	80	76
Low	73	69

日付	国	6月経済指標カレンダー	日付	国	6月経済指標カレンダー
3	米国	5月ISM製造業景況指数	12	米国	5月消費者物価指数(CPI)
5	米国	5月ADP雇用統計	12	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表
5	米国	5月ISM非製造業景況指数	12	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見
6	ユーロ	欧州中央銀行(ECB)政策金利	14	日本	植田和男日銀総裁、定例記者会見
6	ユーロ	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見	18	ユーロ	5月消費者物価指数(HICP、改定値)
7	ユーロ	1-3月期四半期域内総生産(GDP、確定値)	18	米国	5月小売売上高
7	米国	5月非農業部門雇用者数変化	21	日本	5月全国消費者物価指数(CPI)
7	米国	5月失業率	26	米国	5月新築住宅販売件数
7	米国	5月平均時給	27	米国	1-3月期四半期実質国内総生産(GDP、確定値)
10	日本	1-3月期四半期実質国内総生産(GDP、改定値)	28	米国	5月個人消費支出